ワンセグ ポータブルDVDプレーヤー
PDP-W90(W)
取扱説明書(保証書付)

商品に関するお問い合わせ

キュリオムサポートセンター

0570-00-9106

受付時間:
月～金 午前10時～午後5時30分
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)
※ナビダイヤルは一部の電話では
ご利用になれない場合がございます。
メールでのお問い合わせ:
E-mail : support@qriom.com
ホームページ : http://www.qriom.com

お買い上げいただきありがとうございました。
なお、この取扱説明書(保証書付)は、大切に
保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が
生じたとき、きっとお役に立ちます。

20131216(Ver.1.0)

本製品のお取扱上のご注意

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品のお取り扱いに関しましてご案内いたします。

記

正しくお使いいただくために下記の点にご注意ください。

●機器をご使用になる前に
まず機器にアダプターもしくは充電池を挿入して、電源を供給してください。
機器の起動は、側面にある主電源スイッチをONにしてください。

＊主電源スイッチがOFFになっていると、全ての操作を受け付けません。

●テレビ機能ご使用の前に

アンテナは受信環境の良いところに設置してください。地域によっては受信環境の悪い場所もございます。ご家庭のアンテナを使用される場合は付属のアンテナ中継ケーブルを使用してご家庭のアンテナ端子に接続してください。テレビを初めてご覧になる前にはスキャン操作が必要です。スキャン操作はお使いの地域で受信可能な放送局を探し、登録する作業です。この操作を行なわないとテレビ放送を受信することはできません。双方向通信、データ放送サービスには対応しておりません。

●電源アダプター使用上のご注意

①シガー電源アダプターの必要以上の抜き差しはおひかえください。またはシガー電源アダプター／ＡＣ電源アダプターの端子やコードを必要以上に動かしたりさわったりすることはおひかえください。（故障や接触不良の原因となります。）
②付属のシガー電源アダプターはＤＣ１２ＶからＤＣ２４Ｖまで使用可能です。ＤＣ１２Ｖ車、ＤＣ２４Ｖ車のシガープラグへ直接接続してください。電圧変換器（DC-DCコンバーター等）を使用すると故障の原因になることがございます。

●各種メディアを再生する前に

市販のDVD/CDディスク以外のレコーダーやパソコンなどで作成したデータの再生についてご自身で作成されたメディアやファイルについては作成環境も多岐に渡るため、本書に記載された対応形式であっても再生できない場合もあります。デジタル放送を録画したCPRMディスクはVRモードのみ対応可能です。
CPRMディスクは読み込みに時間がかかったり、認識できない場合もあります。
※ブルーレイディスクは再生できません。

●ＡＶ出力機能

本製品でDVDモードで再生しているものや受信した地上デジタル放送の映像は外部へ出力することが可能です。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、
再生できなかったり故障の原因となることがあります。

14　故障かなと思ったら

症　状	原　因	処　置
再生しない。	本体内部で結露していませんか?	常温で約1時間待ってから、ご使用ください。
	規格以外のディスクが入っていませんか?	DVD、CDなど製品にあった規格のディスクをご使用ください。
	ディスクが汚れていませんか?	ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクのラベル面が下向きになっていませんか?	ラベル面を上にして入れ直してください。
映像が出ない。	充電池残量は十分ありますか?	充電池を充電するか、ACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続してください。
音が出ない。	消音設定がオンになっていませんか?	リモコンの消音ボタンを押して、消音設定を解除してください。
	音量が下がっていませんか?	音量を適度に調節してください。
イヤホンから音が出ない。	イヤホンの接続が不安定になっていませんか?	イヤホン端子にプラグをしっかり差し込んでください。
	消音設定がオンになっていませんか?	リモコンの消音ボタンを押して、消音設定を解除してください。
	音量が下がっていませんか?	音量を適度に調節してください。
音が飛ぶ・途切れる。	振動が大きい環境で使用していませんか?	振動が少ない環境で使用してください。
	ディスクが汚れていませんか?	ディスクをクリーニングしてください。
外部機器から映像・音声が出ない。	外部機器と正しく接続されていますか?	外部機器との接続を確認してください。 接続機器の入力設定を確認してください。
リモコン操作が出来ない。	電池の極性(プラス・マイナス)はあっていますか?	表示にあわせて正しく入れ直してください。
	電池が消耗していませんか?	新しい電池と交換してください。
	リモコン受光部前に障害物などがありませんか?	障害物を取り除いてください。
映像が乱れる。	ディスクが汚れていませんか?	ディスクをクリーニングしてください。
	充電池残量はありますか?	充電池を充電するか、ACアダプターまたはシガー電源アダプターを接続してください。
外部のテレビで映像が乱れる。	ビデオデッキなどを接続していませんか?	本機からの映像をビデオデッキやビデオ内蔵テレビを通してご覧になるとコピー防止の働きにより、正常な映像にならないことがあります。直接本製品とテレビを接続してください。

目　次

1　はじめに

安全上のご注意

※ご使用の前に「安全上のご注意」と「取扱説明書」の内容を良くお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使い頂きお使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を追う可能性、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵の表示例

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。

左図の場合は「分解禁止」を表しています。

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示をする内容が書かれています。

左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」ということを表しています。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告

濡れ禁止

本体内部に水や異物を入れない

火災や感電、故障の原因になります。

浴室使用禁止

浴室、シャワー室など湿気がある場所では使用しない

火災や感電、故障の原因になります。

濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。

禁止

自動車やオートバイの運転中は使用しない

運転中の機器の操作は交通事故の原因になります。

禁止

煙が出たり、異常な音やにおいがするなど、異常な状態のまま使用しない

火災や感電、故障の原因になります。

指示に従う

定格電圧以外の電圧では使用しない

機器の故障や、火災や感電の原因となります。

地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）　つづき

地域名	三重		岐阜		大阪		京都	
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・津	3	NHK総合・岐阜	1	NHK総合・大阪	1	NHK総合・京都
	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・名古屋	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	1	東海テレビ放送	1	東海テレビ放送	4	毎日放送	4	毎日放送
	5	中部日本放送	5	中部日本放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	6	名古屋テレビ放送	6	名古屋テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送
	4	中京テレビ放送	4	中京テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送
	7	三重テレビ放送	8	岐阜放送	7	テレビ大阪	5	京都放送
地域名	兵庫		和歌山		奈良		滋賀	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・神戸	1	NHK総合・和歌山	1	NHK総合・奈良	1	NHK総合・大津
	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪	2	NHK教育・大阪
	4	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送	4	毎日放送
	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送	6	朝日放送
	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送	8	関西テレビ放送
	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送	10	読売テレビ放送
	3	サンテレビジョン	5	テレビ和歌山	9	奈良テレビ放送	3	びわ湖放送
地域名	広島		岡山		島根		鳥取	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・広島	1	NHK総合・岡山	3	NHK総合・松江	3	NHK総合・鳥取
	2	NHK教育・広島	2	NHK教育・岡山	2	NHK教育・松江	2	NHK教育・鳥取
	3	中国放送	4	西日本放送	8	山陰中央テレビジョン放送	8	山陰中央テレビジョン放送
	4	広島テレビ放送	5	瀬戸内海放送	6	山陰放送	6	山陰放送
	5	広島ホームテレビ	6	山陽放送	1	日本海テレビジョン放送	1	日本海テレビジョン放送
	8	テレビ新広島	7	テレビせとうち				
			8	岡山放送				
地域名	山口		愛媛		香川		徳島	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・山口	1	NHK総合・松山	1	NHK総合・高松	3	NHK総合・徳島
	2	NHK教育・山口	2	NHK教育・松山	2	NHK教育・高松	2	NHK教育・徳島
	4	山口放送	4	南海放送	4	西日本放送	1	四国放送
	3	テレビ山口	5	愛媛朝日テレビ	5	瀬戸内海放送		
	5	山口朝日放送	6	あいテレビ	6	山陰放送		
			8	テレビ愛媛	7	テレビせとうち		
					8	岡山放送		
地域名	高知		福岡		熊本		長崎	
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・高知	3	NHK総合・福岡	1	NHK総合・熊本	1	NHK総合・長崎
	2	NHK教育・高知	3	NHK教育・北九州	2	NHK教育・熊本	2	NHK教育・長崎
	4	高知放送	2	NHK教育・福岡	3	熊本放送	3	長崎放送
	6	テレビ高知	2	NHK教育・北九州	8	テレビ熊本	8	テレビ長崎
	8	高知さんさんテレビ	1	九州朝日放送	4	熊本県民テレビ	5	長崎文化放送
			4	RKB毎日放送	5	熊本朝日放送	4	長崎国際テレビ
			5	福岡放送				
			7	TVQ九州放送				
			8	テレビ西日本				
地域名	鹿児島		宮崎		大分		佐賀	
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・鹿児島	1	NHK総合・宮崎	1	NHK総合・大分	1	NHK総合・佐賀
	2	NHK教育・鹿児島	2	NHK教育・宮崎	2	NHK教育・大分	2	NHK教育・佐賀
	1	南日本放送	6	宮崎放送	3	大分放送	3	サガテレビ
	8	鹿児島テレビ放送	3	テレビ宮崎	4	テレビ大分		
	5	鹿児島放送			5	大分朝日放送		
	4	鹿児島読売テレビ						
地域名	沖縄							
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・那覇						
	2	NHK教育・那覇						
	3	琉球放送						
	5	琉球朝日放送						
	8	沖縄テレビ放送						

- 地上デジタル放送は、地上アナログ放送との混信を避けるため、エリアによっては非常に小さい出力で開始されます。そのため、受信可能エリアが限定されます。また、受信障害がある環境では、エリア内でも受信できないことがあります。
- 地上デジタル放送開始等の確認は、お近くのTV局へお問い合わせください。

13　地上デジタル放送チャンネル一覧表（ご参考）

地域名		北海道（札幌）		北海道（函館）		北海道（旭川）		北海道（帯広）
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・札幌	3	NHK総合・函館	3	NHK総合・旭川	3	NHK総合・帯広
	2	NHK教育・札幌	2	NHK教育・函館	2	NHK教育・旭川	2	NHK教育・帯広
	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送
	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送
	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送
	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送
	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道
地域名		北海道（釧路）		北海道（北見）		北海道（室蘭）		宮城
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・釧路	3	NHK総合・北見	3	NHK総合・室蘭	3	NHK総合・仙台
	2	NHK教育・釧路	2	NHK教育・北見	2	NHK教育・室蘭	2	NHK教育・仙台
	1	北海道放送	1	北海道放送	1	北海道放送	1	東北放送
	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	5	札幌テレビ放送	8	仙台放送
	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	6	北海道テレビ放送	4	宮城テレビ放送
	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	8	北海道文化放送	5	東日本放送
	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道	7	テレビ北海道		
地域名		秋田		山形		岩手		福島
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・秋田	3	NHK総合・山形	1	NHK総合・盛岡	1	NHK総合・福島
	2	NHK教育・秋田	2	NHK教育・山形	2	NHK教育・盛岡	2	NHK教育・福島
	4	秋田放送	1	山形放送	6	IBC岩手放送	8	福島テレビ
	8	秋田テレビ	5	山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ
	5	秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	岩手めんこいテレビ	5	福島放送
			8	さくらんぼテレビジョン	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島
地域名		青森		東京		神奈川		群馬
放送局名 チャンネル番号	3	NHK総合・青森	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・青森	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	1	青森放送	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網
	6	青森テレビ	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送
	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
			5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
			7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
			9	東京メトロポリタンテレビジョン	9	テレビ神奈川	9	群馬テレビ
			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学
地域名		茨城		千葉		栃木		埼玉
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・水戸	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京	1	NHK総合・東京
	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京	2	NHK教育・東京
	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網	4	日本テレビ放送網
	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送	6	東京放送
	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン	8	フジテレビジョン
	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日	5	テレビ朝日
	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京	7	テレビ東京
	12	放送大学	3	千葉テレビ放送	3	とちぎテレビ	3	テレビ埼玉
			12	放送大学	12	放送大学	12	放送大学
地域名		長野		新潟		山梨		愛知
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・長野	1	NHK総合・新潟	1	NHK総合・甲府	3	NHK総合・名古屋
	2	NHK教育・長野	2	NHK教育・新潟	2	NHK教育・甲府	2	NHK教育・名古屋
	4	テレビ信州	6	新潟放送	4	山梨放送	1	東海テレビ放送
	5	長野朝日放送	8	新潟総合テレビ	6	テレビ山梨	5	中部日本放送
	6	信越放送	4	テレビ新潟放送網			6	名古屋テレビ放送
	8	長野放送	5	新潟テレビ２１			4	中京テレビ放送
							10	テレビ愛知
地域名		石川		静岡		福井		富山
放送局名 チャンネル番号	1	NHK総合・金沢	1	NHK総合・静岡	1	NHK総合・福井	3	NHK総合・富山
	2	NHK教育・金沢	2	NHK教育・静岡	2	NHK教育・福井	2	NHK教育・富山
	4	テレビ金沢	6	静岡放送	7	福井放送	1	北日本放送
	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビジョン放送	8	中部日本放送
	6	北陸放送	4	静岡第一テレビ			6	富山テレビ放送
	8	石川テレビ放送	5	静岡朝日テレビ				

分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください

発火したり、異常動作をして怪我の原因になります。

⚠注意

指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグをもって引き抜く

感電やショートして発火する恐れがあります。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳を傷める原因となります

禁止

湿度の高い所やほこりのある場所で使用しない

火災や感電、故障の原因になります。

禁止

自動車内など高温になる場所に放置しない

機器の変形や故障の原因となります。

禁止

再生中に本体の移動はしない

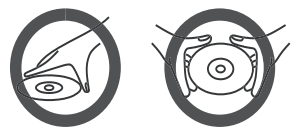
ディスクが高速回転していますので、中のディスクを傷つけたり破損する恐れがあります。

ディスクの取り扱いについて

※ CDおよびDVDは、ほこり、汚れや引っかき傷がつかないように、慎重に取り扱ってください。

※ 引っかき傷、汚れ、ほこりなどからCDおよびDVDを常に保護してください。使用していないときはCDおよびDVDを購入したときに入っていたケースに入れて保管することをお勧めします。

※ CDおよびDVDにほこりや引っかき傷が付いたり歪んだりすると、音や映像が飛んだり途切れたり、または雑音が発生する原因となります。

※ CDおよびDVDを持つときは、プレイ面に触れないよう注意してください。

※ CDおよびDVDはケースに入れて保管してください。ラベルが張られている面を上にし、ラベル面を軽くおしてケースに収納してください。

※ CDおよびDVDは暖房器具の近く、温度が高い場所またはほこりっぽい場所には置かないでください。

※ ボールペンでラベル面に文字を書かないでください。またCDおよびDVDにラベルを貼らないでください。

※ CDおよびDVDのプレイ面に付着したほこりや汚れや指紋は柔らかい布を使いCDおよびDVDの内側から外側に向かって拭き取ってください。絶対に円を描くように拭かないでください。

※ 従来のレコードクリーナー、帯電防止剤、ベンゼン、シンナー、その他の溶剤は使用しないでください。

再生可能なディスク

DVDビデオ/音楽CD/ビデオCD/
MP3/WMA/JPEG

DVD±R/RW
(DVD-Video型式)

※ ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生できない場合があります。
※ ファイナライズされていないDVD±R/RWは再生できません。

DVD-R/RW(CPRM対応ディスク)
(VRモード)

※ DVD±R DL(2層式)、DVD-RAMディスクには対応していません。
※ ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生できない場合があります。
※ ファイナライズされていない状態では再生できません。

CD-R/RW
(CD-DA/MP3/WMA/VCD/JPEG型式)

※ ディスクの品質や記録状態によっては正常に再生できない場合があります。

再生可能なリージョン

※ 本機で再生できるリージョンコードは"2"と"ALL"です。

リージョンコードとはDVD、及びDVD再生機器に割り当てられた地域番号です。
DVDディスクとDVD再生機器のリージョンコードが一致していないと再生できません。

著作権について

※ ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開することや、有償、無償を問わずレンタルする事は法律により禁止されています。

※ ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピーガード機能により複製された映像は乱れます。

※ 本機はマクロビジョンコーポレーションなどが所有する合衆国特許及び知的所有権によって保護された著作権保護テクノロジーを搭載しています。この著作権保護テクノロジーの使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要です。同社の許可がない限り、一般家庭及び特定の視聴用に制限されています。解析(リバースエンジニアリング)又は改造することも禁止されています。

※ DVDロゴは商標です。

12 主な仕様

項目	仕様
製品名称	9インチ ワンセグ ポータブルDVDプレーヤー
型番	PDP-W90(W)
液晶ディスプレイ	9インチ(16:9) TFT LCD
解像度	800×3(RGB)×480
視野角度	上下120度、左右140度
カラーシステム	PAL/NTSC自動切換
再生可能メディア	12CM CD/CD-R、12CM DVD/DVD-R、 SD/MMC/USBフラッシュメモリー(16GB)
再生可能データメディア	DVD/CD/VCD、CD-R/RW、DVD-R/RW(VRモード・CPRM記録ディスクを含む)、MPEG、MP3、JPEG、AVI、DIVX ※注意:著作権保護管理されたファイルは本機では再生できません。
映像出力	CVBS、1Vp-p75Ω
音声出力	1.4Vrms/10kΩ
使用電源	入力:DC12V AC100～240V(家庭用AC電源アダプター) DC12～24V(車載用シガー電源アダプター) ニッケル水素充電池単3形×8本(1900mAh以上)(電池別売)
充電池持続時間(目安)	約2時間(容量1900mAh充電池満充電の場合。) ※充電池の性能や充電状態により変化します。
温度	使用温度:−5℃～40℃ 保存温度:−10℃～60℃
消費電力	約10W
外形寸法	250(W)×185(D)×52(H) mm
本体質量	約870g(本体のみ)

再生メディアに関するご注意!

DVD-R
本機はビデオモード又はCPRM方式で記録し、且つファイナライズ処理されたものに関して再生が可能です。双方とも記録状況によっては再生出来ない場合があります。

CD-R
本機の対応フォーマットで記録され、記録終了時にセッションクローズ又はファイナライズされた音楽用CD-R再生に対応しています。双方とも記録状況によっては再生出来ない場合があります。

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

11　ご注意

●本製品を運用した結果のいかなる影響についても、弊社は一切の責任を負いかねます。
●本取扱説明書は株式会社山善が著作権を保有します。
●株式会社山善の著作物の一部または全部を無断で複製、転写、転載、改変することを禁止します。
●一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
●本製品および本取扱説明書の内容について、不審な点やお気付きの点がございましたら弊社までご連絡下さい。
●本製品および本取扱説明書などは、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
●本製品は日本国内でのみ使用されることを前提として開発・製造されています。
●本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●また、弊社は本製品に関して日本国外での技術サポート、アフターサービスなどを行っておりません、あらかじめご了承ください。

本書の内容につきましては、万全を期しましたが、ご不明な点や誤りなどございましたら、販売店もしくは弊社にご連絡ください。
また、上記に関わらず、以下の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

①弊社の責任によらない製品の損傷、破損、または改造による故障や不具合
②本製品をお使いになって生じたデータの消失または破損
③本製品のために費やした時間、経費
④本製品に付随する、または運用の結果もたらされた損害
⑤本製品によりもたらされるべき、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

また、本書に乱丁、落丁があった場合はお取り替えいたしますので、弊社までご連絡ください。

著作権について

● 市販の音楽CDなどを権利者の承諾なしに複製することは、個人で楽しむ以外は著作権法により禁止されています。個人で楽しむ目的であっても、作成した音楽データを権利者の承諾なしに第三者に配布することはできません。個人で楽しむ目的で録音した音楽データを、権利者の承諾なしに故意にインターネット上で配布することは、著作権の「公衆送信権」「送信可能化権」に抵触し、行った場合は法律による処罰の対象になります。

個人情報のお取り扱いについて

● 株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

2　使用上のお願い

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明します。

本機の取り扱いについて

●液晶画面を傷つけたり衝撃を与えたりしないでください。液晶が破損し、故障の原因になります。
●引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、梱包材を使用し振動が伝わらないように、また外観や液晶パネルに傷がつかないようにしてください。
●殺虫剤、芳香剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげるなどの原因となります。
●長時間ご使用になっていると本体が多少熱くなりますが、故障ではありません。
●ふだん使用しないときは、ディスクを取り出し電源を切っておいてください。
●長時間使用しないとき機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて使用してください。

置き場所について

●本機は水平な場所に設置してください。不安定な場所や傾いている所、走行中の車内など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。
●直射日光のあたる場所、熱器具の近く、締め切った車内など温度が高くなる場所に置かないでください。故障の原因となります。
●本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中の画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

お手入れについて

●本体や操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
　ベンジン、シンナー、アルコール等の有機溶剤は絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●液晶画面についたよごれなどは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

レーザー製品について

●本機は、レーザーシステムを使用しています。本製品を正しくお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただいたあとも必ず保管してください。修理などが必要な場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
●本取扱説明書に記載された以外の調整・改造を行なうと、レーザー被爆の原因になりますので絶対におやめください。
●本機は、映像信号の読み取りのためにレーザーを使っています。弱いレーザー光のため、人体に大きな影響はありませんが、安全のため、絶対に製品を分解しないでください。

結露（露付き）について

結露(露付き）とは、よく冷えた飲料水をコップにそそぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。同じような現象として、製品内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。
●結露に注意する
・本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
・暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたとき
・夏季に冷房のきいた部屋・車内などから急に温度、湿度の高い場所に移動したとき
・湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき
●結露がおきそうなときは、本機をすぐに停止する
結露がおきた状態で本機を使用すると、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。

お車での使用について

●移動中、運転中の視聴および操作は大変危険ですのでおやめください。本体及びアンテナは運転に支障が出ない位置に設置してください。車種によっては取付けができない場合があります。
●誤った電源を使用すると故障やショートの原因となります。必ず付属の車載用シガーアダプタをご使用ください。付属のシガーアダプターはDC12V-24V対応です。電圧DC-DCコンバータ等の電圧変換器は使用しないでください。
●自動車のエンジン始動時は、シガーソケットからの電源供給が不安定です。本製品を車載で使用する場合、DCアダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、DVDプレーヤー本体に無理な負荷をかけ故障の原因となる場合があります。機器の接続は、エンジンがかかった状態で行なってください。また、電源分配機に接続していると電源供給が不安定なため正常に動作できない場合があります。
●真夏・真冬の車内等、過酷な状況下での使用や置き去りは故障や事故の原因となり、非常に危険です。絶対におやめください。
●移動や引っ越し等により初期設定でスキャンをした地域の外に出ると、それまでにご覧になっていたチャンネルを受信できなくなります。視聴地域が変わったら、もう一度スキャンをやり直してください。
●大きな建物のそばや山陰、トンネル内等では、電波の受信状況が悪くテレビが映らなくなることがあります。その場合は、電波の受信状況が良い場所に移動してください。

DVDやCD及び各種メディア再生について

●ピックアップのヘッド（ディスクを読み取るレンズ）には触れないでください。
●ディスクトレイにはDVD、CD以外の異物を挿入しないでください。また、USBスロットとSD/MMCスロットに異物を挿入しないでください。
●ディスクをセットする時は１枚だけを使用し、読み取り面を下にして中央のターンテーブルにカチッと音がするまで差し込んでください。
●CD-R/RW、DVD-R/RW及び各種メディアを使用する場合は、ファイルの種類または作成されるレコーダーやPC等の互換性やデータの保存方式によって再生できないものが

※一般的にＣＤやＤＶＤ（市販されているもの）以外の音楽、動画データについては、本機で再生出来ない場合がありますので予めご了承ください。

※本機で再生可能な動画データは標準画質（ＳＤ）までです。ＨＤ画質の動画は再生出来ませんので予めご了承下さい。

DIVXは、一般的なAVIファイルとして知られているビデオの録画形式です。
DIVXディスクの機能は大容量ＤＶＤに匹敵する高品質を備えています。

ご注意

・回転中にディスクに触れない。（けがや故障の原因になります。）

・パネルを閉めるとき手をはさまない。（指や手をはさみけがの原因になります。）

・パネルを無理にあけない。（無理に開けると故障の原因になります。）

・変形、ひび割れ、接着剤などでの補修、シールやフィルムなどの貼りもののあるディスクは使用しない。（故障の原因になります。）

・本製品で再生出来ないディスクやディスク以外の異物は入れない。（故障の原因になります。）

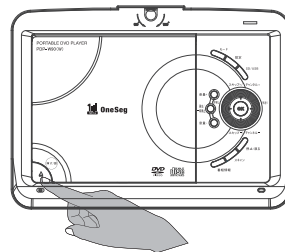
・再生中に本製品を傾けたり揺らしたり移動させたりしない。
故障の原因になります。悪路を走行中はディスクを停止させてください。

・長時間再生直後は、内部に触れない。
内部が熱くなることがありますのでディスクの取り出しには注意してください。

10　DVDモードで再生（DVD/SDカード/USBメモリー）

ディスク（DVD/CD)を入れる

すべての接続が正しく完了しましたら、プレーヤーのスイッチを入れて再生してみましょう。

1.ディスプレイを開けて電源を入れます。
2.オープンボタンを押してディスクカバーを開けて下さい。画面に“開く”と表示されます。
3.ディスクをトレイの上に置きます。
（カチッと音がするまでしっかりと中央のホルダーにはめ込みます。）
4.ディスクカバーを閉めると画面上に“読込み中”と表示され自動的に再生が始まります。

オープンボタンを押す。

ディスクを再生させる

電源の接続、ディスクの挿入の確認をしてください。
①本製品の電源をいれる。
②モード（MODE）ボタンを押しDVDモードにする。
③再生／一時停止ボタンを押しディスクを再生させる。
※ディスクを入れパネルを閉めたときに電源オン、ＤＶＤモードで自動再生されます。
④ＤＶＤディスクやビデオＣＤを再生するとディスクプログラムのメニュー画面が表示されます。上下左右ボタンにてメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

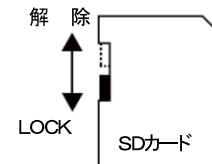
SDカード/USBメモリーを再生させる

市販のSDカードやUSBメモリーにパソコンなどでいれた動画・静止画や音楽を再生させることができます。

①本製品の右側面にあるSDカードおよびUSBの挿入口に動画・静止画又は音楽の入ったSDカードもしくはUSBメモリーを挿入する。
②本製品の電源をいれる。
③モードボタンを押しDVDモードしたのち、SD／USBにする。
④上下ボタンで挿入デバイスを選択し決定ボタンを押す。
⑤画面のメニューに従って再生したいデータを上下左右ボタンで選び決定ボタンを押す。
⑥画面のメニュー内容に従って再生をお楽しみください。

あります。そのためすべてのメディアの再生は保証できません。
●本機で再生する前に、必ず作成したレコーダーでファイナライズ処理をしてください。
●大きいサイズのデータや大容量メディアについては読み込みが遅かったり、認識できない場合があります。
●本機で再生できるCPRMディスクはVRモードのみです。
●デジタル放送を録画したVRモード･CPRMのディスクは読み込みに時間がかかったり、記録状態によっては認識できない場合もあります。
●USB端子に接続できるのはUSBメモリストレージです。通信機器などPCで使用するデバイスには対応しておりません。

メモリーカードについて

●メモリーカードの容量やメーカーによっては、再生できない場合があります。
　対応していない種類のメモリーカードを本機に挿入しないでください。未対応のメモリーカードを挿入した場合、本機およびメモリーカードが故障・破損するおそれがあります。
●大切なデータはバックアップをとっておくことをお勧めします。本機でメモリーカードを使用することによって、万一何らかの不具合が発生した場合でも、データの損失や記録できなかったデータの保障、およびこれらに関わるその他の直接または間接の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●メモリーカードの取扱いかたについては、各メモリーカードの取扱説明書をご覧ください。
●通常のご使用でデータが破損(消滅)することはありませんが、誤った使い方をするとデータが破損(消滅)することがあります。記録されたデータの破損(消滅)については、故障や損害の内容・原因に関わらず当社は一切その責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●メモリーカードを本機に差し込むときは、上下(表裏)の向きに注意して、最後までしっかりと差し込んでください。
●メモリーカードへの書込み、読出し中は、本機の電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
●メモリーカードは精密部品です。折り曲げたり、落としたりなどの無理な力や強い衝撃を与えないでください。
●強い磁場や静電気が発生するところでの使用や保管はしないでください。
●高温多湿なところやほこり、油煙の多い場所での使用や保管はしないでください。
●メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また手で触れないように注意してください。
●メモリーカードを持ち歩いたり、保管をするときには、静電気防止ケースに入れてください。
●直射日光があたるところや、ストーブやヒーターなど熱源のそばに放置すると、故障の原因になることがあります。
●ズボンやスカートのうしろポケットに入れたまま、座席やいすなどに座らないでください。破損、故障の原因となります。
●本機から取り出したメモリーカードが熱くなっていることがありますが、故障ではありません。
●メモリーカードには寿命があります。長時間使用するうちに書込みや消去ができなくなった場合には、新しいメモリーカードをお求めください。
●大切なデータを誤って消去しないために、カード側面のライトプロテクトタブを｢LOCK｣に切り換えると、ロック状態(書込み禁止状態)にすることができます。記録、編集、消去するときはロック状態を解除してください。

テレビ受信について

●ご購入後､はじめてテレビをお使いになる場合はスキャン操作をしてください。
　スキャンは使用する地域で受信可能な放送局を記憶させる操作で、テレビを視聴するために必ず行なう設定です。
●スキャン操作ははじめて使用する時以外にも移動や引っ越し等で受信可能な放送局がかわる場合や、ご使用の地域で新しい放送が開始された場合等にも再度設定する必要があります。
●本製品のテレビ機能は日本国内の地上デジタル放送を受信するためのものです。
　海外ではご使用になれません。また国内であっても地上デジタル放送を開始していない地域では番組を受信できません。
●建物の陰や窓際から遠い室内や地下等では電波が届かないため放送を受信することができません。また、屋外でも電波が弱い場所では受信できない場合があります。

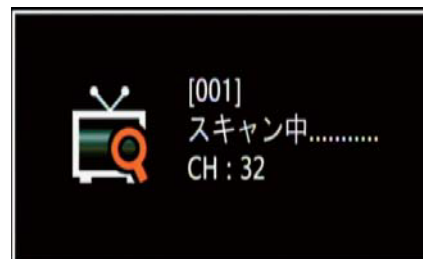
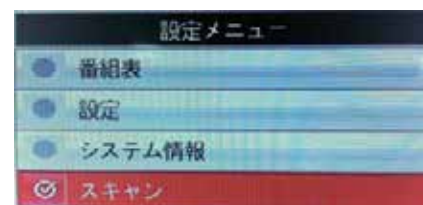
＊ロッドアンテナを使用しても受信感度が悪い場合は、付属のアンテナ中継ケーブル（１Ｍ）を使用して、室内用アンテナ端子に接続してください。（Ｐ２４・２５参照）

使用上のご注意

●本製品のACアダプター／シガーアダプターの電圧がコンセントの電圧と合っているかを確認してください。
●クリーニングする場合、シンナー、ベンジン、アルコール等は使用しないでください。
●長期間使用しない場合はコンセントを抜いて保管してください。
●夏の暑い車中や直射日光のあたる場所、火気の近く等、極端に温度の高い場所での使用や放置はおやめください。変形や故障の原因となります。静電気の多い場所やほこりの多い場所、風呂場等の水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はおやめください。また、濡れた手で操作をしないでください。ショートによる故障や感電の原因となります。
●分解や改造は行わないでください。火災、感電、故障の原因となります。ご自身による分解や改造が原因で故障した場合、修理をお断りいたします。
●落としたり、踏んだり、加重や衝撃を与えたりしないでください。
●本製品から異臭がしたり、煙が出たり、異常な音がしましたら、電源アダプターをコンセントから抜いて、速やかに弊社サポートセンターまでご連絡ください。
※お問い合わせ先は本書巻末、及び保証書に記載してあります。
●USB端子を搭載しておりますが、ストレージ以外の製品（通信用装置など）を接続して使用することはできません。またストレージであっても、USBからの電力で駆動する機器は、消費電力が大きすぎるため、使用できない場合があります。
●液晶パネルは高度な技術で製造されていますが、稀に常時点灯もしくは消灯するドットが存在します。これは故障ではありませんので、予めご了承ください。
●小さなお子様がご使用される場合には本製品の取扱を十分に理解した大人の監視、指導のもとでご使用願います。

テレビの操作メニュー

●スキャン

始めてTVを視聴される時、遠い距離を移動された場合、
アンテナ局を再設定する為に、スキャンする必要があります。
通常のスキャンは自動検索を実行してください。
リモコンのスキャンボタンを押すだけでも行えます。

テレビの操作メニュー

明るさ

画面の明るさの調整ができます。

▲▼ボタンで調整して、戻るボタンを押します。

工場初期化

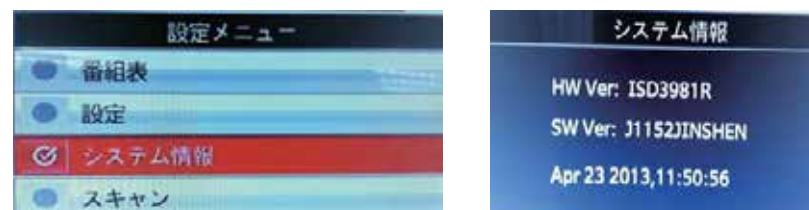
工場出荷時の初期設定に戻します。

工場初期化を選択すると、『初期化しますか？』と表示されます。

決定ボタンを押すと、初期化されます。

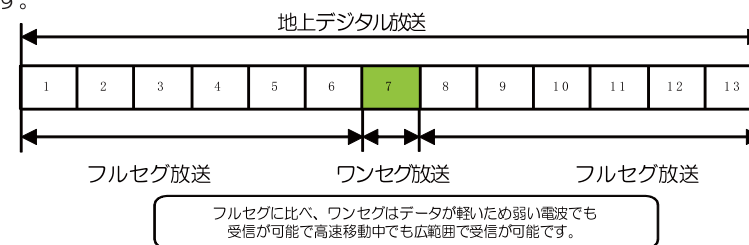
●システム情報

現在ご使用のシステム情報が表示されます。

不具合等が発生した場合、この内容をご連絡ください。

３　地上デジタル放送について

ワンセグ放送について

「ワンセグ」は地上デジタル放送のひとつで、移動中でも受信できるサービスです。
地上デジタル放送は1チャンネルの帯域幅内で13個のセグメントに分割し使用しています。
そのうち一つのセグメントを利用して放送していることから「ワンセグ」と呼んでいます。

詳しくは社団法人デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページ
（http://www.dpa.or.jp/）をご覧ください。
放送エリアのめやすは（http://vip.mapion.co.jp/custom/DPA_B/）にてご確認いただけます。

※本製品は地上デジタル放送の双方向通信、データ放送サービスには対応しておりません。

地上デジタル放送視聴中のご注意

●地域により受信可能な放送局は異なります。必ずご使用する地域で放送局のスキャン操作を行い受信できる放送局を設定してください。
　放送エリア内でも、周囲の地形や建物などにより電波が届かない場所やトンネル、建物内などでは受信できないことがありますのであらかじめご了承願います。
●移動中に電波が弱いエリアに入ると音声や映像が乱れたり、画像の静止、黒い画面になることがあります。デジタル放送の場合、アナログ放送のように乱れた映像でもかろうじて視聴できるというような状態にはなりません。アンテナ角度の調整や電波状態の良い場所に戻ることで改善されます。
●デジタル放送の場合、実際の時刻と番組にタイムラグ(時間のずれ）が発生します。
　正確な時刻どおりに番組が始まらない等は、放送特性上のものであり機器の故障ではありません（数秒の遅れが発生します）。

4　ご使用の前に

この度は当社製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

接続と操作を行う前にこの取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。また、将来の参照用説明書として保存されることをお薦めいたします。本機は最先端の技術を駆使、小型・軽量化され簡単に設定できるように設計されています。ホテル、事務所、家庭等どこでも持ち運びに便利なDVDプレーヤーです。

※本書は仕様変更のため、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

主な特長

●ワンセグTVチューナー内蔵 9インチディスプレイ
●AC-3、PCM デジタル音声デコーダー
●9インチTFT　LCD（16：9）
●互換性：DVD、VCD、MPEG1/2、CD、MP3、CD-R、DVD-R、AVI、JPEG等
●再生コントロール機能：再生、一時停止、早送り、早戻り再生、停止
●画面のアスペクト比：4：3PS、4：3LB、16：9
●動作電圧 :DC12V
●USBポート、SDカードをサポート（16GBまで）
●音飛びや画像の乱れを防止するアンチショック機能を採用

セット内容

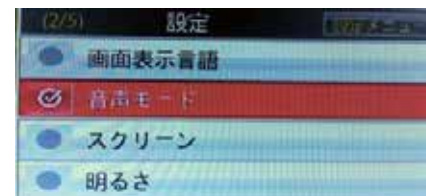
以下が揃っているかを確認してください。不足品がありましたら弊社までお問い合わせください。また、改良のため予告無く製品内容が変更されることもありますので予めご了承ください。

①DVDプレーヤー本体　×1
②リモコン　×1
③単4形乾電池（リモコン用）　×2
④家庭用AC電源アダプター（AC100V-240V）　×1
⑤車載用シガー電源アダプター（DC12V-24V）　×1
⑥AVケーブル　×1
⑦室内/車載用アンテナ　×1
⑧車載ヘッドレスト取付用本体収納ケース　×1
⑨アンテナ中継ケーブル(ケーブル長さ：1M)　×1
⑩取扱説明書（保証書付き）　×1

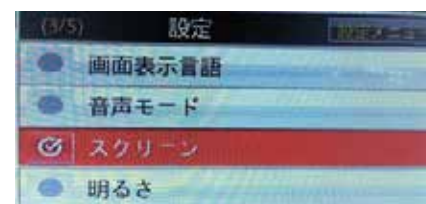
テレビの操作メニュー

音声モード

主音声・主音声+副音声・副音声を選択できます。

▲▼ボタンで選択して、戻るボタンを押します。

スクリーン

ノーマル画面・ズーム画面・ムービーを選択できます。

▲▼ボタンで選択して、戻るボタンを押します。

テレビの操作メニュー

TV使用時、設定ボタンを押すと、設定メニューの画面が表示されます。

▲▼ボタンで各項目を選択して、決定ボタンで選択してください。

設定メニュー画面に戻る時は、戻るボタンを押してください。

●番組表

設定されたチャンネル、番組表が表示されます。

●設定

TVに関しての各詳細設定が行えます。

▲▼ボタンで設定メニュー項目を選択して、各詳細設定に入ってください。

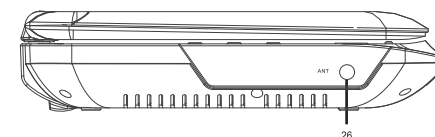
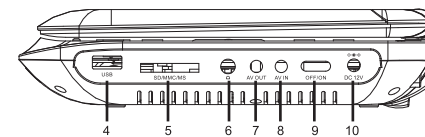
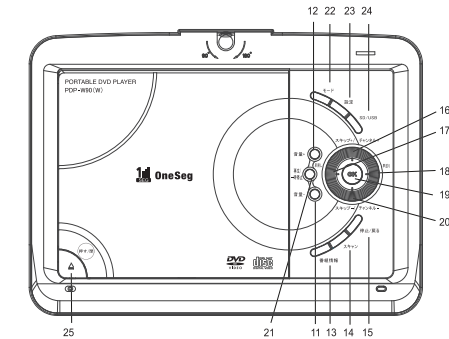
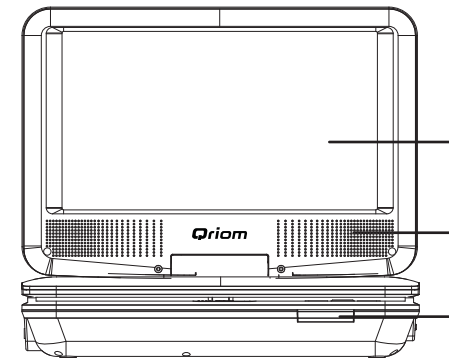
設定終了後は、戻るボタンを押してTV画面に戻してください。

画面表示言語

画面表示言語を、日本語・英語に変更できます。

日本語・Englishを、▲▼ ボタンで選択して、戻るボタンを押します。

5　本体各部の名称・機能

本体各部の名称

１.　ＬＣＤ画面
２.　内蔵スピーカー
３.　リモコン受光部と点灯表示
４.　USBドライブ接続口（USB）
５.　SD/MMCカード差込口 (SD/MMC CARD)
６.　ステレオイヤホン端子（🎧）
７.　音声ビデオ出力端子 (AV OUT)
８.　音声ビデオ入力端子 (AV IN)
９.　電源切替ボタン（OFF/ON）
１０.ＤＣ入力端子(DC　12V)
１１.音量-ボタン（音量を下げる）
１２.音量+ボタン（音量を上げる）
１３.番組情報ボタン
１４.スキャンボタン
１５.停止/戻るボタン
１６.スキップ+/チャンネル+ボタン
１７.早戻しボタン
１８.早送りボタン
１９.決定ボタン(ENTER)
２０.スキップ-/チャンネル-ボタン
２１.再生/一時停止ボタン
２２.モード切替ボタン
２３.設定ボタン
２４.USB/ＳＤ切換ボタン（USB/SD）
２５.オープンボタン　(OPEN)
２６.アンテナ入力端子（ANT）

本体各部の機能

ＮＯ.	名称	表示	機能
1	ＬＣＤ画面	ー	9インチ液晶画面
2	内蔵スピーカー	ー	スピーカー ｘ２
3	リモコン受光部 と点灯表示	ー	・リモコン受光部 ・電源の点灯表示
4	USBドライブ 接続口	USB	再生用のソースが入ったUSBメモリーを 挿入します。(16GBまで)
5	SD/MMCカード 差込口	SD/MMC CARD	再生用のソースが入ったカードを挿入 します。(16GBまで)
6	ステレオイヤホ ン端子	🎧	Φ3.5ステレオミニジャック用のステレオ イヤホンを挿入します。
7	音声ビデオ出力 端子	AV-OUT	付属ＡＶケーブルを接続し本体を外部機器 で再生します。（本体→外部機器）
8	音声ビデオ入力 端子	AV-IN	付属のＡＶケーブルを接続し外部機器を本体 で再生します。（外部機器→本体）
9	電源切替ボタン	ON/OFF	本体電源のON/OFFの切替をします。 ＊本体の電源をOFFすると、リモコンは ON/OFFできません。 リモコン使用時は必ず本体の電源をONに してご使用ください。
10	DC入力端子	DC12V	付属の電源アダプターを接続します。
11	音量ー	音量ー	音量ーボタンを押すと音量が下がります。 ＊電源オフすると音量は10に戻ります。
12	音量＋	音量＋	音量＋ボタンを押すと音量が上がります。 ＊電源オフすると音量は10に戻ります。
13	番組情報	番組 情報	ＴＶ使用時、ボタンを押すとチャンネルリスト 画面が表示されます。 戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。 ※ＴＶモードのみ。

9　TVモード（テレビ）で再生

初起動操作

スキャン操作ははじめて使用するときに必ず行う操作です。スキャンを行わないと、テレビ放送を受信することができません。また、移動により放送エリアが変わった時にもスキャンをやり直してください。
初めて本機を使用する際は以下の初期設定を行ってください。

1、電源を入れる。
2、モードボタンでTVモードにする。
　＊下記の画面が表示されます。

3、リモコンのスキャンボタンを押してください。スキャンを開始します。現在地で受信可能な放送局を探し出し記憶します。
　＊スキャン時は必ず受信環境が良いところで行って下さい。
　ご家庭で有線アンテナをご使用の地域（有線が必要）では、付属のアンテナでは受信が困難です。その際は、付属のアンテナ中継ケーブルをご家庭のアンテナ線に接続して、スキャンを行って下さい。
4、スキャンが終了しましたら、リモコン等でお好みのチャンネルを選局してお楽しみください。
　＊受信環境が悪くスキャンが終了しない場合は戻るボタンを押し、再度スキャン ボタンで実行してください。

≪お車でスキャン操作を行うときのご注意≫

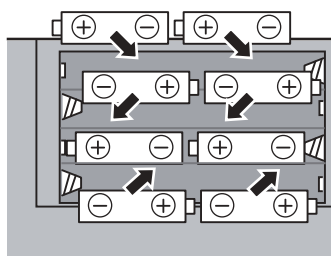
※スキャンの際は、見晴らしの良い電波の受信環境の良い場所で車を停止して行って下さい。受信環境が悪い所で行ったり、スキャン中に移動したりすると放送局が受信出来ない場合があります。
※遠く移動するなど受信できる放送局が変わる場合は、受信環境などで放送局の検索がスムーズにいかない場合があります。その際は、受信環境の良い場所へ移動し暫く停止してからスキャンを行って下さい。

充電池を使用する

※ACアダプターやシガー電源アダプターで、本製品をご使用の場合は、充電池を入れる必要はありません。

【充電池使用上の注意】

●本製品には、充電池は含まれておりません。市販のニッケル水素充電池（容量1900mAh以上、単3形8本）をお使いください。アルカリ電池やマンガン乾電池は使用して行くと、上記電池より早く電圧が低下してくる為、機器の期待する性能が持続できません。
●充電池の+/-は、表示に合わせて正しく入れて下さい。1本が+/-逆でも動作する場合がありますが、発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
●充電した電池と放電した電池、銘柄の違う電池、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
●長時間使わない時は、必ず電池を機器から取り出してください。電池が液漏れなどを起こし、機器や充電池に損傷を与えます。
●本製品には、充電機能はありません。充電池を充電する場合は、本製品から取り出し、その充電池に適合する市販の専用充電器をお使いください。
●充電池でご使用の場合は、充電容量を消耗すると、映像、音声が歪んだり、ノイズが出たりディスプレイ表示が消えたりします。その様な場合はすぐ電源スイッチを（切）にして下さい。（入）のままにしておくと、充電池は過放電し、液漏れや劣化の原因になります。
●スタンバイ状態でも充電池は消耗しますので、お使いにならない時は、本体の電源スイッチを（切）にして下さい。
●ご使用の充電池や充電器の取扱説明書や注意書きをよくお読みください。

充電ボックスカバーをスライドして外し、下図のように、充電した容量1900mAh以上の単3形ニッケル水素充電池を8本+/-の極性に注意して正しく挿入します。充電池の-側をスプリング端子側に入れて押し付けながら順に挿入します。

※充電池は別売です。

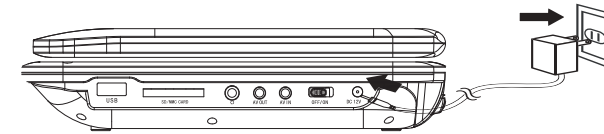
本体各部の機能

NO.	名称	表示	機能
14	スキャン	スキャン	ＴＶ使用時、ボタンを押すとチャンネルをスキャンし始まります。受信可能な放送局を探し出します。 ※ＴＶモードのみ。
15	停止 /戻る	停止 /戻る	・再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。 ・ボタンを押すと、前の画面に戻ります。
16	スキップ+ チャンネル+	スキップ+ チャンネル+	・次のチャプターや次のトラックにスキップします。 ・上のチャンネルを選択します。
17	早戻し	早戻し	・DVDモードの場合：早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
18	早送り	早送り	・DVDモードの場合：早送り再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
19	決定	ENTER	メニュー項目などを入力または選択し決定ボタンを押すことによりそれを実行することが出来ます。 ＴＶ使用時に決定ボタンを押すと、チャンネル表示・受信感度の確認が行えます。
20	スキップ― チャンネル―	スキップ― チャンネル―	・前のチャプターや前のトラックにスキップします。 ・下のチャンネルを選択します。
21	再生 /一時停止	再生 /一時停止	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどのその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
22	モード切替	モード	映像出力をDVD/TV/AV IN（音声ビデオ入力）の選択します。

本体各部の機能

No.	名称	表示	機能
23	設定	設定	DVD使用時 基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定のページが表示され方向ボタン（◀▶）で選択し、方向ボタン（▼▲）で下位メニューを選びます。もう一度「設定」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。 （詳細説明20－22ページ） TV使用時 設定メニューが表示され、方向ボタン（▼▲）でメニューを選びます。
24	USB/SD 切替	USB/SD	USB、SD（MEDIA)を選択します。方向ボタン（▲▼）で選択し、決定ボタンを押すと、画面には、何れかが認識されていればMEDIA名が表示され、認識されない場合は“No Device”と表示されます。本機の初期値としてDVDが選択されています。
25	オープンボタン	OPEN	ディスクカバーあける
26	アンテナ 入力端子	ANT	アンテナ線を接続します。 （端子形状：SMA端子）

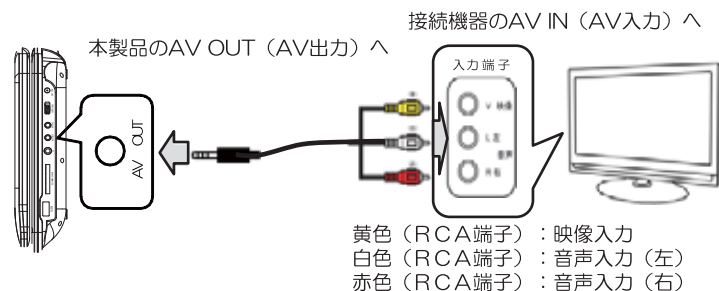
電源の接続

本体側面の電源入力に付属のACアダプターもしくは車載用DCシガーアダプターを接続してコンセントもしくはシガーソケットに接続します。

※長期間電源につないだまま放置しないでください。未使用時は必ずプレーヤー本体から電源アダプターを取り外してください。
※車載用シガーDCアダプターはＤＣ12V-DC24Ｖ車に接続できます。DC-DCコンバーターなどの電圧変換器は使用しないでください。故障の原因になることがあります。
※<u>お車での使用について、DCアダプターを差し込んだままエンジンを始動すると、機器に大きな電流が流れて破損したり、車側のヒューズが破損する事があります。エンジン始動時は必ず、DCアダプターを抜いてください。</u>

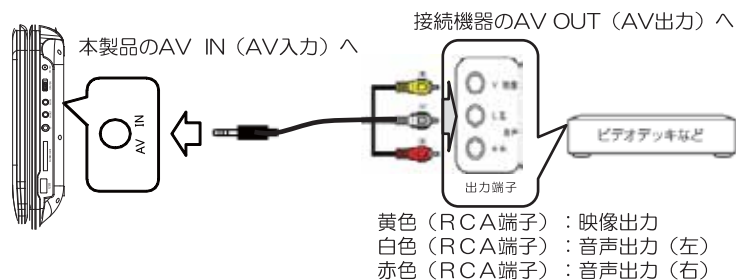
外部機器の接続

外部機器と接続してお使いになる場合下記のように接続してください。
本製品単体でお使いになる場合は、下記の接続の必要はありません。

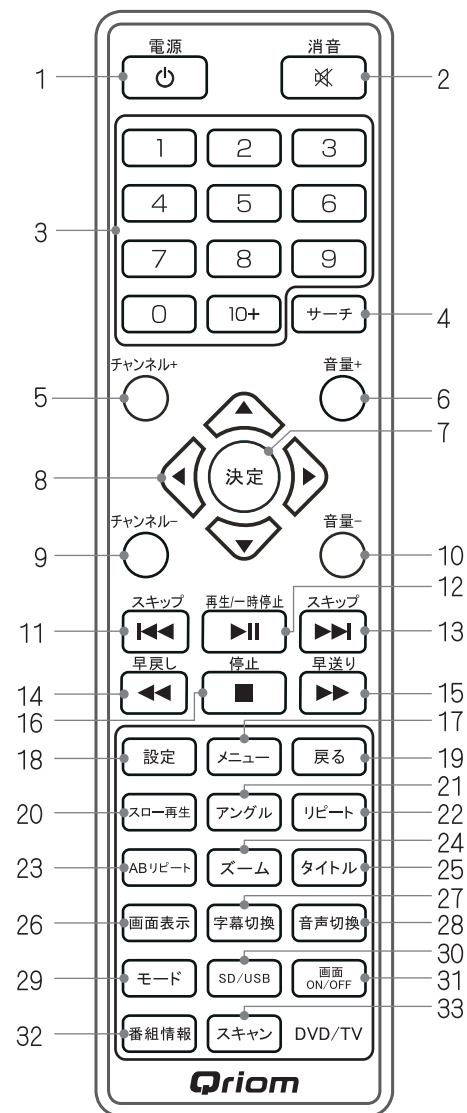
（1）外部機器に出力する場合
本製品で再生している映像を外部機器に出力する場合の接続です。
（大画面テレビでDVDを観賞したいときなど）
付属のAVケーブルを使って、本製品側面のAV　OUTと外部接続機器（テレビ等）の入力端子を接続します。

黄色（ＲＣＡ端子）：映像入力
白色（ＲＣＡ端子）：音声入力（左）
赤色（ＲＣＡ端子）：音声入力（右）

※接続したテレビ側で外部入力モード（ビデオ等）に切り替える必要があります。
※本製品でDVDモードで再生しているものや受信した地上デジタル放送の映像は外部への出力することが可能です。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり故障の原因となることがあります。

（2）外部機器から入力する場合
本製品にビデオデッキ、ビデオカメラ等の外部機器を接続し、接続機器側で再生している映像を本製品の液晶モニターに再生します。
付属のAVケーブルを使って本製品側面のAV INと接続機器の出力端子を接続します。

黄色（ＲＣＡ端子）：映像出力
白色（ＲＣＡ端子）：音声出力（左）
赤色（ＲＣＡ端子）：音声出力（右）

※外部機器の映像を入力する場合は、本製品の機能モードを「AVモード」に切換えてください。
※接続コードは、必ず付属のコードをご使用ください。市販のコードを使用した場合、再生できなかったり故障の原因となることがあります。

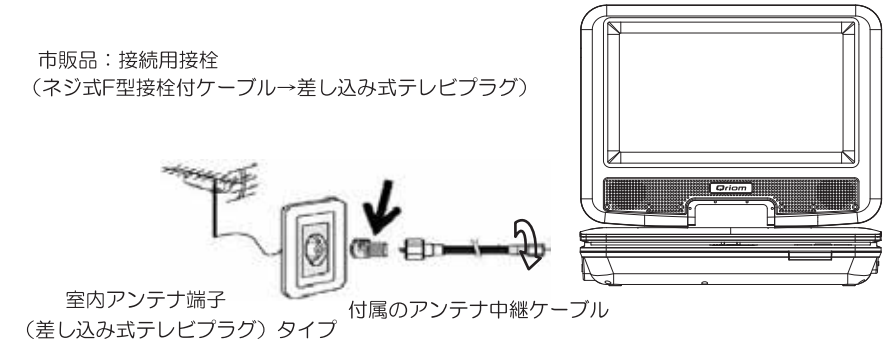
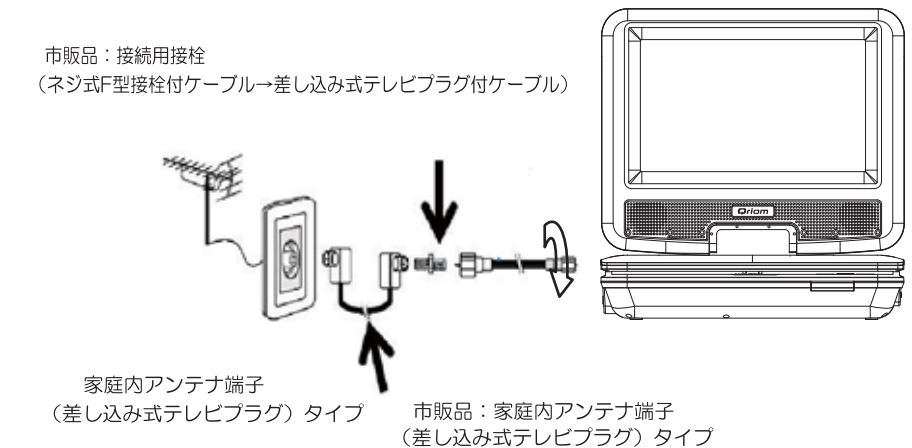
６　リモコンの各部名称・機能

リモコンの各部名称

１.　電源ボタン
２.　消音ボタン
３.　数字ボタン（1〜9、0、10+）
４.　サーチボタン(DVD専用)
５.　チャンネル+ボタン
６.　音量+ボタン（音量を上げる）
７.　決定ボタン
８.　上下左右方向ボタン(▲▼◀ ▶)
９.　チャンネル-ボタン
１０. 音量-ボタン（音量を下げる）
１１. スキップ-ボタン (|◀◀)
１２. 再生/一時停止ボタン (▶ǁ)
１３. スキップ+ボタン(▶▶|)
１４. 早戻しボタン
１５. 早送りボタン
１６. 停止ボタン（ ■ ）
１７. メニュー ボタン
１８. 設定ボタン
１９. 戻るボタン
２０. スロー再生ボタン
２１. DVDアングル変更ボタン
※DVDの映像に複数のアングルがある場合にのみ機能します。
２２. リピートボタン
２３. ABリピートボタン
２４. ズームボタン
２５. タイトルボタン
２６. 画面表示ボタン
２７. 字幕ボタン
２８. 音声切替ボタン
２９. モード切替ボタン
３０. SD/USB切替ボタン（SD/USB）
３１. 画面ON/OFFボタン
３２. 番組情報ボタン
３３. スキャンボタン

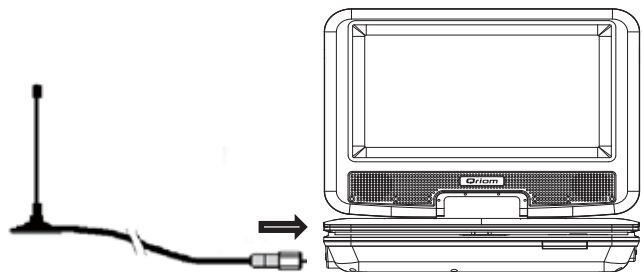
リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
1	電源切替ボタン	⏻	本体電源のON/OFFの切替をします。 ＊本体の電源をOFFすると、リモコンはON/OFFできません。 リモコン使用時は必ず本体の電源をONにしてご使用ください。 ※充電池使用時はOFFにしても、電池の容量は消耗します。
2	消音ボタン	🔇	一時的に音が消えます。元に戻すにはもう一度押すことにより元に戻ります。 ＊電源ボタンをオフするとMUTE設定は解除されます。
3	数字ボタン	1～9、0、10+	数字を入力するとき（トラックやチャプター、チャンネル選択等）に使います。
4	サーチボタン	サーチボタン	ディスク使用時に、チャプター指定再生／タイトル内時間指定再生／チャプター内指定再生が選択できます。 チャプター指定再生：再生中のタイトルの中のチャプターを指定再生します。 タイトル内時間指定再生：再生中のタイトル内の時間指定を数字ボタンにより指定し再生します。 チャプター内指定再生：再生中のチャプター内の時間指定再生を数字ボタンにより指定再生します。 ＊ディスクにより設定内容が変わりますので画面の設定に従って入力してください。
5	チャンネル＋	チャンネル＋	チャンネル＋ボタンを押すと上のチャンネルを表示します。
6	音量＋	音量＋	音量＋ボタンを押すと音量が上がります。 ＊電源オフすると音量は10に戻ります。
7	決定	決定	メニュー項目などを入力または選択し決定ボタンを押すことによりそれを実行することが出来ます。 ＴＶ使用時に決定ボタンを押すと、チャンネル表示・受信感度の確認が行えます。
8	方向ボタン	▲ ▼ ◀ ▶	方向ボタンでメニューのハイライトされている部分を移動させるのに使用することができます。 またＴＶ使用時、▼▲ボタンでＴＶチャンネルの切換え（アップダウン）ができます。◀▶ボタンで音量変更ができます。

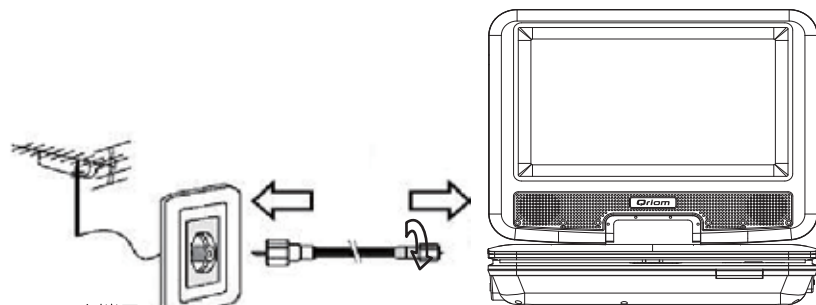
②室内アンテナ端子が差し込み式のテレビプラグ端子の場合
付属のアンテナ中継ケーブルは直接、室内用アンテナ端子には取り付けませんので、市販の接続用接栓や市販のアンテナコードを使用して接続してください。

②-1、室内アンテナ端子と付属のアンテナ中継ケーブルを接続する接栓を使う場合

②-2、市販のケーブルと付属のアンテナ中継ケーブルを接続する接栓を使う場合

アンテナの接続

（1）付属のロッドアンテナを使う場合

本体に付属の外付け受信用ロッドアンテナを接続し、窓際など電波の受信しやすい場所に置いてください。お車でご使用の際は、なるべく高い位置に設置したほうが受信状況はよいですが、お車によって状況は異なりますので、安全運転に支障のない範囲で受信状況のよい設置場所をお探し下さい。

付属ロッドアンテナのコネクターを本体左側面のアンテナ端子に差込み右回しにしっかりと固定してください。

（2）室内用アンテナ端子に接続して使う場合

①室内アンテナ端子がネジ式のF端子の場合
付属のアンテナ中継ケーブルを使用して接続してください。本体側、アンテナ端子側ともにネジ式になっていますので、右回しにしっかりと固定してください。

室内アンテナ端子
（ネジ式F型接栓）タイプ

リモコンの各部機能

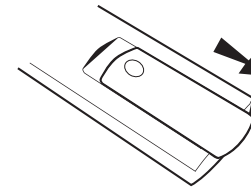
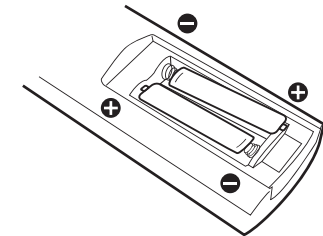
No.	名称	表示	機能
9	チャンネルー	チャンネルー	チャンネルーボタンを押すと下のチャンネルを表示します。
10	音量ー	音量ー	音量ーボタンを押すと音量が下がります ＊電源オフすると音量は10に戻ります。
11	スキップー	I◀◀	前のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
12	再生／一時停止	▶ll	ボタンを押すことにより再生/一時停止の切り替えをします。また、早送り、早戻しなどのその他の再生状態時に押すと通常再生に戻ります。
13	スキップ＋	▶▶I	次のキャプチャーまたはトラックにスキップします。
14	早戻し	◀◀	・DVDモードの場合：早戻し再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
15	早送り	▶▶	・DVDモードの場合：早送り再生ができます。利用可能なスピードは2.4.8.16.32倍と通常の速度です。
16	停止ボタン	■	再生中に一回押すと一時停止します。二回押すとスタート位置に戻り停止します。
17	メニュー	メニュー	ボタンを押すことによりブライトネス、コントラスト、色合い、彩度、表示された項目を、方向ボタン（◀▶）で調整・選択します。
18	設定	設定	DVD使用時 基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定のページが表示され方向ボタン（◀▶）で選択し、方向ボタン（▼▲）で下位メニューを選びます。（詳細説明20-21ページ） TV使用時 設定メニューが表示され、方向ボタン（▼▲）でメニューを選びます。
19	戻る	戻る	前の画面に戻ります。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
２０	リピート	リピート	ボタンを押すことにより繰り返しモードになります。 DVD(チャプター→タイトル→オール CD（トラック→オール） Note：PBC機能が有効の場合この機能は無効になります。 ＊本体、リモコン電源ボタンをオフするとリピートは解除されます。
２１	スロー再生	スロー再生	ボタンを押すことにより、ゆっくりした1/2、1/4、1/8、1/16倍の速度で再生します。 ＊スロー再生中は音声はでません。
２２	アングル	アングル	ボタンを押すと視野角度が上下120度、左右140度内に変更されます。 ※この機能は複数のカメラアングルでエンコードされたディスクにのみ対応。
２３	ABリピート	ABリピート	指定したA-B間をリピートします。
２４	ズーム	ズーム	ボタンを押すことにより動画シーンをズームイン（拡大）／ズームアウト（縮小）することが出来ます。ズームイン/ズームアウト可能な倍数は2x、3x、4x、1/2、1/3、1/4です。ズームインしたときに、方向ボタン（▼▲◀▶）を使用すると画面が移動できます。 Note：この機能はDVD、VCDに適応します。
２５	画面表示	画面表示	タイトル・チャプターの再生経過時間を表示する事ができます。画面オフを押すまで経過時間は表示し続けます。 （ タイトル経過時間→タイトル残り時間→チャプター経過時間→チャプター残り時間→画面表示オフ ）
２６	タイトル	タイトル	DVD再生中にボタンを押すと再生画面にタイトル（ルート）メニューが出てきます。方向ボタン（▲▼）でご希望のメニューを選択してください。タイトルメニューはDVDにより内容が違います。方向ボタン （▶◀） で選択し決定ボタンを押すと次画面に変わります。 PBC機能はコード化されている再生ディスクの場合のみPBCメニューを表示します。もう一度押すとPBCは機能しなくなります。 Note：DVD、VCD1.1、CD-DAとMP3にはPBC機能はありません。

８　リモコン・本体の準備及び接続

リモコンの準備

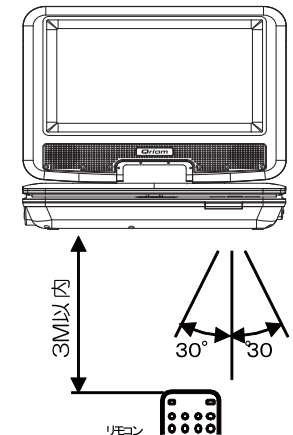
①リモコンのふたを外す。

②乾電池をいれる。
・単４形乾電池を使用します。
・乾電池は一側から縦に２本挿入する。

③リモコンのふたを閉める。

［注意］：リモコン電池について
※リモコンの電池は、単４形乾電池（二本使用）です。製品付属の電池は動作確認用になります。通常ご使用分は、別途ご用意ください。
※長期間本製品を使用しない時はリモコンの電池を取り出して保管してください。液もれの原因となります。

リモコンの操作範囲

画面に対し垂直に向けて
操作してください。

距離：リモコン受光部から
　　　３m以内
角度：リモコン受光部から
　　　上下左右約３０度以内

ご注意：写真はイメージです。

映像設定

画質調整の設定行います。
リモコンのメニューボタンでも同じ設定ができます。

◎画面・・・ブライトネス、コントラストの設定
設定を選び（◀▶）ボタンでお好みの画質設定を選び決定を押します。

・ブライトネス -20 ～ 0 ～ +20（輝度調整）
・コントラスト -16～ 0 ～ +16
・色合い −9～0～+9
・彩度 −9～0～+9

選択設定

＊選択設定ページを開く場合、全てのMEDIAを取り外し、
ディスクカバーをOPENにしてください。

◎テレビタイプ・・・PAL／AUTO／NTSCの選択設定
本機は、放送方式がNTSC方式とPAL方式と互換性があり、どのTV放送方式でも接続が可能です。NTSCのTVに接続した場合、再生ディスクがPAL方式であってもNTSC信号を出力します。（日本、韓国、台湾、米国、カナダなど）PAL方式のTVに接続した場合､再生ディスクがNTSC方式であってもPAL信号を出力します。
（中国、ヨーロッパ、中東など）間違った選択をした場合画面が汚くなりますので正しく選択してください。
＊日本でご使用の場合はNTSCに設定されていることを確認してください。

◎ペアレント設定（パレンタル設定）：視聴制限機能
暴力画面などを含むＤＶＤディスクには見る人の年齢によって視聴を制限できるようにレベル設定されているものがあります。本機では、どのレベルまで再生できるかを設定できます。適切な制限レベルは実際にお客様ご自身で動作させてご確認ください。
制限レベル（KID SAFE、G、PG、PG13、PGR、R、NC17、ADULT）
※日本で発売しているDVDはほとんどが視聴制限に対応されていません。

◎パスワード
この項目でパスワードを変更することができます。
パスワードを変更しても初期設定パスワード136900は常に有効です。
＊新しいパスワードに変更する前旧パスワードを正しく入力する必要があります。
初期設定のパスワードは136900です。

◎初期設定
工場出荷時の初期設定に戻します。視聴制限のパスワードは初期化されませんのでご注意ください。

＊詳細設定が不明になった場合、初期設定を実行してください。

リモコンの各部機能

No.	名称	表示	機能
２７	字幕	字幕	この設定をONにすると、ディスクに字幕情報が含まれている場合に字幕を画面上に表示します。*この機能は字幕情報付DVDに対応。
２８	音声切替	音声切替	ディスク内の切替可能な音声を選択します。（ディスクによって異なります）
２９	モード	モード	映像出力をDVD/TV/AV IN（音声ビデオ入力）の選択します。
３０	ＵＳＢ/ＳＤ	ＵＳＢ/ＳＤ	ボタンを押すと、USB、SDを選択するためのダイアログが表示されます。方向ボタン（で選択し、決定ボタンを押すと、画面には、現時点で認識されているMEDIA名が表示され、認識されない場合は“No　Device”と表示されます。
３１	画面ON/OFF	画面 ON/OFF	ボタンを押すと、画面ON/OFF設定ができます。※画面は消えますが音声はでます。
３２	番組情報	番組情報	ＴＶ使用時、ボタンを押すと、チャンネルリスト画面を表示されます。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。※ＴＶモードのみ。
３３	スキャン	スキャン	ＴＶ使用時、ボタンを押すとチャンネルをスキャンし始まります。受信可能な放送局を探し出します。※ＴＶモードのみ。

7　設定ボタンの説明

モードボタンでDVDモードに設定して下記操作を行ってください。

1．本体または、リモコンの設定ボタンを押すと各々の設定メニュー画面が表示されます。

2．方向ボタン（◂又は▸）を押して基本設定、デジタル設定、映像設定、選択設定のページを選択し本体のENTERボタンあるいはリモコンの決定ボタンで決定します。
（◂）ボタンで前の設定画面に戻すことができます。

3．次に（▾又は▴）ボタンで上下に移動しメニューを選択し本体のENTERボタンあるいはリモコンの決定ボタンで決定します。
（▸）ボタンを押して右側にサブメニューを表示することもできます。

4．決定したメニューからサブメニューの選択内容を（▾又は▴ ）ボタンで選択し本体のENTERボタンあるいはリモコンの決定ボタンで決定します。
（◂）ボタンで前メニューに戻ります。設定メニューを終了するには設定ボタンを押します。

基本設定

◎画面サイズ・・・4：3PS／4：3LB／16：9の切換
・4：3 PS （パンスキャンサイズ）：通常のテレビ（4：3）に接続した場合､ワイド画面（16：9）イメージは縦いっぱいに表示され左右の一部がカットされて再生します。
・4：3 LB (レターボックスサイズ)：通常のテレビ（4：3）に接続した場合､ワイド画面（16：9）イメージは上下に帯が入って再生されます。
・16：9 （ワイドサイズ）：ワイドテレビ（16：9）に接続した場合、ワイド画面（16：9）のディスクを再生した場合フル画面で再生します。水平方向にすべて画面が収まるように伸縮されて表示されます。
＊ディスクによっては画面サイズの変更ができない場合があります。
＊ディスクが入っている時に画面サイズの設定はできません。ディスクを取り出してください。

◎アングルマーク・・・オン（入）／オフ（切）
複数のカメラアングルの映像が組み込まれているマルチアングル付きＤＶＤのアングル選択ができます。
＊この機能はマルチアングルで作成されたDVDに対応します。

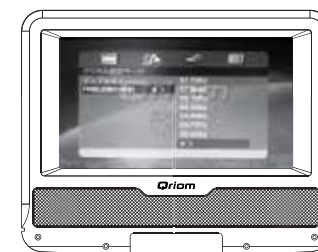
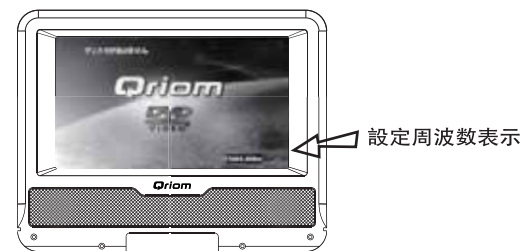
◎画面表示言語・・・英語（Eng）／日本語（JPN）の切換
設定のページ画面に表示される言語の設定をします。

◎スクリーンセーバー・・・オン（入）／オフ（切）
画面上の画像が静止したまま、例えば、ディスクを数分間PAUSE 、 STOPなどしたとき画面にスクリーンセーバーが表示されます。スクリーンセーバーが表示中、いずれかの操作ボタンを押すと元の状態に戻ります。
＊スクリーンセーバーの時間は設定できません。

◎ラストメモリー(レジューム)・・・オン（入）／オフ（切）
この機能をオンにしたとき、本機が再生中ディスク扉を開いたり、又はディスクを停止した場合、最後に再生していた部分を記憶しておく機能。ディスクを再生するときに記憶された箇所から再生が始まります。他のディスクを読み込むとメモリーは消えます。

デジタル設定（FMトランスミッターの設定）

◎デュアルモノ
＊本機種はこの機能は対応していません。

◎FM周波数の選択
＊FMトランスミッターの設定を行います。
下の画面から他の機器と干渉しない周波数を設定してください。（設定7種類）
設定を完了したら、受信機器（ラジオ）の周波数をあわせてください。

FMトランスミッターから音声を発信するには、音量を01以上にしてください。
音量を00にすると音声は中断されます。（消音ボタンを押しても音声は中断します）

電波発信中は画面右下に設定周波数が表示されます。
必要でない場合は、FM周波数の選択をオフにしてください。

<u>受信距離は周りの環境によって影響されます。(3M以内を目安にしてください)</u>
<u>受信が困難な場合は機器を近づけてください。</u>